

エルシーブイ FM 第 90 回放送番組審議会

1. 日時 2022 年 3 月 ※書面開催
2. 場所 諏訪市四賀 エルシーブイ株式会社 本社
3. 出席者 委員定数 6 名
出席委員 4 名 佐久 秀幸 委員長
宮坂 ちとせ 副委員長
小山 靖 委員
花岡 光昭 委員

欠席委員 2 名 岩波 尚宏 委員
北原 友 委員

放送事業者側 5 名 深井 賀博 代表取締役社長
大野 弘信 専務取締役
佐久 章展 放送制作部長兼制作課長
吉田 和晃 放送制作部 FM 制作課長
中島 裕子 放送制作部 FM 制作課

4. 議事次第

- ・岡谷 TMO 提供コーナー「出るぞらー！」について審議

5. 議事の概要

【審査番組】

岡谷市イルフプラザ 1 階のサテライトスタジオからの公開生放送番組

諏訪市以外でのレギュラー生放送番組としては初の試みとして

2021 年 4 月 2 日スタート

→LCV 岡谷支局の PR、イルフプラザ等への誘客での社会貢献

→ゲスト出演者の広がり

→パーソナリティが外に出ていく、関わりを持つ機会

岡谷 TMO 提供コーナー「出るぞらー！」に関する、主な意見としては

- ・一般の方をゲストに迎えて、生放送でトークを進めていくのは、難しい部分もあるが話しやすい雰囲気づくりや間の取り方、ゲストやゲストのお店の魅力を最大限引き出すこと等、パーソナリティそれぞれの持ち味、技量が発揮されるコーナーだと感じた
- ・3回の放送とも、ゲストとの目線合わせができていて、ゲストの人柄やお店の魅力を上手に引き出せていて良かった
- ・各回のパーソナリティーとも、各ゲストのお店の雰囲気、セールスポイント、店主の人柄などを良く掘り下げている。店や店主の思いを知ることができ、「今度行ってみよう」という気になった
- ・限られた時間内で効率的にトークを進めようとするからなのか、パーソナリティーが先回りしてしゃべり過ぎ（または説明しすぎ）だと感じる場面もあった
店主本人の肉声で語ってもらいたい
- ・番組で紹介された店を訪れたであろうリスナーのメッセージが魅力的
双方向のやり取りで番組の厚みが増すし、提供される情報量も増える
- ・寒い日の放送に暖くなるような春の歌の選曲がよかった
- ・地域の話聞くことができ、人とかかわりを大切にしている人を大事に思っている
気持ちの伝わる話は温かい気持ちになる
- ・お肉の話は自分が興味を持って知りたかったことを聞いていたので、私もしっかり
ラジオを聞いてみたいと感じた
- ・岡谷というと、まったくイメージがわからないので、岡谷の良いところが沢山聞ける番組に
なって欲しいと思う
- ・岡谷の土地勘が全くなくゲスト出演されている方の店はどこだろうと思った
- ・なかなかお店に来店することはないし、どこの誰なのか？が見えず、トークによっては全く
他人事になり、頭に入ってこないと感じた

以上、各委員から多数のご意見を頂きました。